

経済学教育における学士力の考察

【到達目標】

1. 日常の経済現象や経済全体の基礎的な考え方や理論を理解できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

経済学入門、ミクロ経済学、マクロ経済学など

【到達度】

- ① 身の回りから国や世界の経済現象について関心を持ち、深めることができる。
- ② 基礎的な経済用語を理解し、経済現象の動きや仕組みを相互依存関係として理解している。
- ③ 経済現象を他者にわかりやすく説明できる。

【測定方法】

- ①は、経済用語や経済現象に関する関心を質疑応答やアンケートなどにより、確認する。
- ②は、経済理論に関する理解を小テストや筆記試験、外部試験などにより、確認する。
- ③は、レポートやプレゼンテーションなどにより、確認する。

【到達目標】

2. 経済の歴史や制度を理解し、資料を援用して、経済情勢を分析することができる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

経済史入門、各国の基礎的な経済史や経済論など

【到達度】

- ① 経済の歴史や制度に関心を持つことができる。
- ② 資料を用いて過去の経済現象の流れを理解し、現実の経済情勢を分析できる。
- ③ 歴史を踏まえて今の経済現象を他者に説明できる。

【測定方法】

- ①は、歴史的な事象に関する関心を質疑応答やアンケートなどにより、確認する。
- ②は、経済の歴史や制度、経済情勢に関する理解を小テストや筆記試験、外部試験などにより、確認する。
- ③は、レポートやプレゼンテーションなどにより、確認する。

【到達目標】

3. 経済政策の基礎的な用語や考え方を理解し、経済政策の重要性を理解できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

経済政策(国内外)など

【到達度】

- ① 身近な経済生活に影響を与える政府の政策に対して関心を持つことができる。
- ② 経済政策の種類と効果および政府と民間の役割などを理解している。
- ③ 経済政策について他者に説明できる。

【測定方法】

- ①は、経済政策に関する関心を質疑応答やアンケートなどにより、確認する。
- ②は、経済政策に関する理解を小テストや筆記試験、外部試験などにより、確認する。
- ③は、レポートやプレゼンテーションなどにより、確認する。

【到達目標】

4. 経済データの意味を理解し、必要なデータを収集・整理して、統計的な処理ができる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

経済統計、統計学など

【到達度】

- ① 経済現象の理解に必要な基本的な経済指標やデータに関心を持つことができる。
- ② 統計の理論や技法の基礎を理解し、基本的な統計の情報収集と処理ができる。
- ③ 統計データに基づいて相関関係などの処理結果を他者に説明できる。

【測定方法】

- ①は、基本的経済データのその意味や水準を理解しているかを質疑応答やアンケートなどにより、確認する。
- ②は、経済統計の理論や処理に関する理解を小テストや筆記試験、外部試験などにより、確認する。
- ③は、レポートやプレゼンテーションなどにより、確認する。

【到達目標】

5. 経済学の知識を統合して、倫理と公共性と責任感を持ち、グローバルな観点から判断できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

経済倫理、開発経済論、世界経済、環境経済、演習など

【到達度】

- ① 経済効率と倫理(コンプライアンス、公共性、公平性)とのバランスに配慮することができる。
- ② 経済学の学習成果を総合的に活用し、経済問題を世界の観点から考えることができる。
- ③ 経済学の考え方を基礎にして責任ある選択や意思決定ができる。

【測定方法】

- ①と②は、レポートや要点整理のプレゼンテーションなどにより、確認する。
- ③は、少人数授業や演習における討論、研究発表、卒業論文などにより、確認する。